

教授

ご活躍の足跡
(2020年1月～12月)稲葉 大
著書

- (1)『マクロ経済学・新版』平口良司・稲葉大著、有斐閣、2020年5月。

Working Paper・Discussion Paper

- (1)“What drives fluctuations of labor wedge and business cycles? Evidence from Japan,” Masaru Inaba, Kengo Nutahara, and Daichi Shirai, CIGS Working Paper (20-006E) 2020年6月。

植村 邦彦
論文

- (1)「その後の〈市民社会〉論」『季報唯物論研究』第152号、『季報唯物論研究』刊行会、112-121頁、8月刊。
(2)「社会思想史の〈物語〉」『社会思想史研究』第44号、社会思想史学会、37-51頁、9月刊。

資料・その他

- (1)「李英和さんと外国人参政権」関西大学『経済学会報』第41号、14-16頁、12月刊。

書評

- (1)「書評：伊藤誠・大藪龍介・田畑稔編『21世紀のマルクス——マルクス研究の到達点』（新泉社、2019年）」『季報唯物論研究』第151号、『季報唯物論研究』刊行会、140-144頁、5月刊。

講演会

- (1)「資本主義の終わりをどう生きるか」、植村邦彦講演集会実行委員会主催「2020年をどう見るか」、大阪PLP会館、2月16日。
(2)「隠された奴隷制」、京都フォーラム「第183回復幸実学共働学習会」、大阪駅前第3ビル「樹福書院」、6月15日。

宇都宮 浄人
著書

- (1)『地域公共交通の統合的政策：日欧比較からみえる新時代』東洋経済新報社、10月刊。

論文

- (1)「モビリティの再生—LRTという可能性—」『建築と社会』Vol 101、31頁、1月刊。
(2)「MaaSの時代に求められること」『JREA』第63巻第2号、7-10頁、2月刊。
(3)「「交通まちづくり」と持続可能な都市」『ていくおふ』第159号、ANA総合研究所、4-11頁、4月刊。
(4)「ドライブ・シェイム」『交通時評』No. 399、3-5頁、5月刊。
(5)「交通まちづくりの費用対効果—費用便益分析の意義と限界」『ていくおふ』第160号、ANA総合研究所、4-11頁、7月刊。
(6)「地域公共交通に求められる「統合的政策」」『運輸と経済』第80巻第7号、交通経済研究所、23-30頁、7月刊。
(7)“Rail bonus: An empirical study onto relative valuation of railways in Austria,” coauthored with Takeru Shibayama, *Transport Policy*, Available online 22 August 2020.
(8)「道路予算で鉄道の再生を」『週刊東洋経済』第6947号、東洋経済新報社、74-75頁、10月刊。
(9)「「新常态」において鉄道に求められること」『みんなてつ』第74号、日本民営鉄道協会、4-7頁、10月刊。
(10)“The impact of regional railways on travel behaviour and social capital,” *Research in*

Transportation Economics 83, November.

資料・その他

- (1)「MaaSの本質—オーストリアとドイツから学ぶべきこと—」『第10回海外交通事情視察・調査』研究シリーズ No.53、関西鉄道協会、都市交通研究所、1-8頁。

書評

- (1)高島修一著『都市鉄道の技術社会史』(吉川弘文館、2019年)『歴史と経済』第248号、57-59、7月刊。
 (2)青木真美著『ドイツにおける運輸連合制度の意義と成果』(日本経済評論社、2019年)『公益事業研究』第72巻第1号、67-68、9月刊。

学会・研究会

- (1)「東日本大震災被災地の自動車保有状況の変化とその背景」(柴山多佳児・藤田知也と共著)、第61回土木計画学研究集会、オンライン、6月14日。
 (2)「沿線住民の鉄道事業者に対する期待と満足」(三古展弘・毛海千佳子と共著)日本交通学会、2020年研究報告会(第79回)、オンライン、10月11日。
 (3)「地域公共交通の統合的政策：日欧比較からみえる新時代」日本福祉のまちづくり学会：日欧比較から考える公共交通政策、中央大学、11月7日。

講演会

- (1)「京都の交通まちづくりを考える～新交通システム・MaaS」京都北ロータリークラブ、京都ブライトンホテル、1月30日。
 (2)「幸せをもたらすモビリティ～MaaSの時代を見据えて～」山陽新聞創刊140周年記念連続シンポジウム、山陽新聞社さん太ホール、2月20日。
 (3)「QOLを高める地域公共交通とは」徹底対話(Deep Dialogue)：日本の地域公共交通をいかに革新するか?、名古屋大学、3月17日。

大西 靖

著書

- (1)『1からの管理会計』(共編著)碩学社、3月刊。

分担執筆

- (1)「短期の利益を計画する」國部克彦・大西靖・東田明編著『1からの管理会計』第5章、碩学社、56-67ページ、3月刊。(共著)
 (2)「予算を編成する」同上書第6章、70-81ページ。(共著)
 (3)「業務的意思決定を支援する」同上書第9章、112-123ページ。(単著)
 (4)「長期的意思決定を計画する」同上書第10章、126-140ページ。(共著)

論文

- (1)「企業における持続可能な開発目標の管理」『現代会計と社会』第14号、1-10ページ、3月刊。(単著)
 (2)「わが国マネジメント・コントロール研究の展開：51年間の文献調査に基づいて」『会計プロGRESS』第21号、17-31ページ、9月刊。(共著)

甲斐 成章

学会・研究会

- (1)「習時代の国有企業改革：国家資本は撤退するのか」関西大学経済学会夏期研究大会、関西大学、7月15日。

片山 直也

Working Paper・Discussion Paper

- (1) Supplement to 'Additive Outliers Detection via the Box--Cox Transformation', Working Paper Series F-98, Economic Society of Kansai University, 2020.
- (2) Additive Outliers Detection via the Box--Cox Transformation, Working Paper Series F-97, Economic Society of Kansai University, 2020.

学会・研究会

- (1) A New Test for Additive Outliers in Non-Stationary Processes using the Box-Cox Transformation. 関西計量経済学研究会2019年度研究発表会、2020.01。

北波 道子

学会・研究会

- (1) "Japan and East Asian Models of Capitalism: Problems to be considered in the Era of "A.C."", 1st Croatian - Japanese Conference, Online conference, Zoom link, June 16, 2020.

受賞・表彰

- (1) Best Paper Award, 1st Croatian - Japanese Conference, June 16

北原 聡

論文

- (1) 「『日本職業大系』について—戦前期の職業紹介事業と豊原又男—」『関西・大坂の社会経済問題の歴史と現状』研究双書第171冊、関西大学経済・政治研究所、181-203ページ、3月刊。
- (2) 「戦前期の職業紹介事業と職業解説の集大成『日本職業大系』について」『セミナー年報2019』、関西大学経済・政治研究所、9-19ページ、3月刊。

神江 沙蘭

著書

- (1) 『金融統合の政治学—欧州金融・通貨システムの不均衡な発展』岩波書店、9月刊。[研]

分担執筆

- (1) "Germany and Japan: Great or Middle Powers in Global Banking Regulation?" Giampiero Giacomello and Bertjan Verbeek (co-authored) *Middle Powers in Asia and Europe in the 21st-Century*, Rowman & Littlefield, pp. 77-95, July. [研]

Working Paper・Discussion Paper

- (1) "Japan's Diplomacy at the G7 and G20: Supporting Global Economic Governance" *Center for Strategic and International Studies Strategic Japan Working Paper*, April. [研]

講演会

- (1) "Japan's Economic Diplomacy at G7/G20: Managing Macroeconomics and Finance" at *Strategic Japan: Shaping the Rules Based Order in the Reiwa Era*, Center for Strategic and International Studies, Washington, D.C., U.S.A., January 8.

後藤 健太

著書

- (1) *The Asian Economy: Contemporary Issues and Challenges*. (Co-edited with Tamaki Endo and Asei Ito). London and New York: Routledge. July.

分担執筆

- (1) 「コロナ禍に揺れるアジア経済とグローバル・バリューチェーン」『アジア太平洋と関西—関西

経済白書〈2020〉』（編集委員）アジア太平洋研究所、50-57頁、10月。

- (2) “SDGs and Global Value Chains” in *Kansai and the Asia Pacific: Economic Outlook 2019-2020* (Associate Editor), Osaka: Asia Pacific Institute of Research, pp. 71-79. April.

Working Paper・Discussion Paper

- (1) *Global Value Chains in ASEAN: Textiles and Clothing* (Paper 14), Tokyo: ASEAN-Japan Centre. March.

資料・その他

- (1) 「接続性の時代を生きる—アジアと共に、その先へ」『書斎の窓』No. 670、有斐閣、25-29頁、7月。

書評

- (1) トラン・ヴァン・トゥ・莉込俊二著『中所得国の罫と中国・ASEAN』『アジア研究』66巻2号、98-100頁、6月。

学会・研究会

- (1) 「途上国援助における日本の産業開発協力の経験と今後の展望～日本の知的役割を考える～」第31回国際開発学会全国大会 企画セッション、オンライン開催、12月6日。
 (2) “The Asian Garment Industry in Global Value Chains: An Overview” The 12th INDAS International Conference, Online, December 19-20.

講演会

- (1) JICA 研究所セミナー「アジア工業化のダイナミズムと産業政策の今日的意味」（「日本の産業開発と開発協力の経験に関する研究：翻訳的適応プロセスの分析」研究プロジェクト）（オンライン）8月27日。
 (2) かんでんエンジニアリング セミナー「SDGs、労働問題と持続的な企業のための現場づくり」（オンライン）8月21日。
 (3) 大阪府工業協会・大阪工業経営研究会主催講演会「グローバル化時代における企業競争力とSDGs」（大阪）8月20日。
 (4) 日本アセアンセンター（CLMV サポートプログラム）CLMV 諸国からの輸入促進オンラインセミナー「グローバル化時代のCLMV 諸国と日本—繊維・衣料産業から見える課題と可能性—」（オンライン）8月18日。
 (5) “Potential Textile and Clothing Exports from CLMV to Japan” (Seminar on export potential of textile and clothing products from Cambodia, Lao PDR, Myanmar and Viet Nam (CLMV) to Japan and global value chain in textile industry), ASEAN Japan Centre. (Phnom Penh, Cambodia). 2月13日。
 (6) 「グローバル化時代における企業競争力とSDGs」（SDGs で実現する中小企業の競争力強化セミナー）堺国際ビジネス推進協議会、（大阪）2月7日。

受賞・表彰

- (1) 第32回アジア・太平洋賞特別賞、（『アジア経済とは何か—躍進のダイナミズムと日本の活路』（中公新書、2019）に対して）毎日新聞社・アジア調査会、11月17日。

佐々木保幸

分担執筆

- (1) 「フランスの流通政策」岩永忠康・西島博樹編著『現代流通政策』第8章第1節、五紘舎、155-161ページ、9月刊。
 (2) 「流通政策の国際比較」岩永忠康・西島博樹編著『現代流通政策』第9章、五紘舎、173-186ページ、9月刊。

学会・研究会

- (1)「文化・芸術を生かした地域活性化 - フランスの事例を中心に」日本消費経済学会第45回全国大会、中村学園大学（HP 開催）、8月21日。
- (2)「フランスのコメルス・アソシエの現状と課題」日本流通学会第34回全国大会、関西大学千里山キャンパス（リモート開催）、10月25日。

佐藤 方宣**資料・その他**

- (1)「氷河期世代が問うもの（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、1月。
- (2)「自粛要請と自己責任（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、3月。
- (3)「巣ごもりする学生たち（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、5月。
- (4)「リスク耐性の格差（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、7月。
- (5)「公的サイトに広告（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、9月。
- (6)「自助を可能にするための公助（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、11月。

鈴木 智也**論文**

- (1)“Destination Choice of Asylum Applicants in Europe from Three Conflict-Affected Countries.” *Migration and Development*, forthcoming, Taylor & Francis, <https://doi.org/10.1080/21632324.2020.1855738>. [研]

学会・研究会

- (1)“Location Choice of Asylum Seekers from Conflict-Affected Countries to Europe.” *Eastern Economic Association Annual Meetings*, アメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストン、2月29日。[研]

竹下 公視**論文**

- (1)「現代中国と伝統中国—制度経済学と社会システム論の観点から—」『経済論集』第69巻第4号、関西大学経済学会、21-48ページ、2020年3月刊。

書評

- (1)北川亘太・比嘉夏子・渡辺隆史著『地道に取り組むイノベーション—人類学と制度経済学者が見た現場—』（ナカニシヤ出版）『経済論集』第70巻第3号、関西大学経済学会、2020年12月刊。

中川 竜一**論文**

- (1)“Bank Herding in Loan Markets: Evidence from Geographical Data in Japan,” *International Review of Finance*, December 2020, forthcoming.

中澤 信彦**研究ノート**

- (1) “‘As One of the Swinish Multitude’: A Note on Malthus’s Allusion to Burke’s *Reflections*.” *The History of Economic Thought*, Volume 62, Issue 1, The Japanese Society for the History of Economic Thought, pp.78-86, July.

資料・その他

- (1) 「鋼の正義感の裏に秘められた無尽蔵の愛情と献身」関西大学『経済学会報』第41号、23-24ページ、12月刊。

書評

- (1) 大河内昌『美学イデオロギー—商業社会における想像力—』（名古屋大学出版会、2019年刊）、『図書新聞』、3439号、武久出版、p.5、3月刊。

学会・研究会

- (1) 「レーニンと毛沢東のマルサス批判の方法」第41回経済学方法論フォーラム（オンライン開催）、12月26日。

西村 雄志**著書**

- (1) 西村雄志「世紀転換期の神戸における外国貿易金融の展開」西村雄志（編）『研究双書170冊 近代関西経済の発展とアジア』関西大学 経済・政治研究所、59-76ページ。
 (2) Ayumu Sugawara and Takeshi Nishimura, “Introduction”, Takeshi Nishimura and Ayumu Sugawara (ed.), *The Development of International Banking in Asia*, Springer, pp.1-24.
 (3) Takeshi Nishimura, “From Silver to Gold: The Currency Reform in Asia before 1913”, Takeshi Nishimura and Ayumu Sugawara (ed.), *The Development of International Banking in Asia*, Springer, pp.43-70.

分担執筆

- (1) 西村雄志「両大戦間期のインドにおける通貨制度と金融制度の『再編』」鎮目雅人（編）『信用貨幣の生成と展開』慶應義塾大学出版会、335-388ページ。

論文

- (1) Takeshi Nishimura, “Relations between the Yokohama Specie Bank and Chinese Merchants in 1930s Kobe: Preliminary Thoughts”, *Kansai University Review of Economics*, 22, pp.1-19.

学会・研究会

- (1) 西村雄志「19世紀末の香港上海銀行バンコク営業所の資金状況」京都大学東南アジア地域研究研究所 共同利用・共同研究拠点「東南アジア研究の国際共同研究拠点：近代東南アジアの社会経済的変容とコミュニケーション技術の発展」2019年度第2回研究会、2020年2月1日、京都大学東南アジア地域研究研究所。
 (2) 西村雄志「両大戦間期のインドにおける通貨制度と金融制度の『再編』」日本金融学会歴史部会、2020年8月1日、オンライン開催。

資料・その他

- (1) Takeshi Nishimura, “Reviewing the Asian economy from a historical perspective”, Kenta Goto, Tamaki Endo, Asei Ito (ed.), *The Asian Economy: Contemporary Issues and Challenges*, Routledge, pp.24-25.

橋本 恭之**論文**

- (1) 「地域間の税収格差について」『関西大学経済論集』第69巻第4号、189-208ページ、3月刊。

学会・研究会

- (1)「ふるさと納税制度の見直し」尼崎市中央市民大学（教養講座）、中央北生涯学習プラザ、9月9日

橋本 紀子**Working Paper・Discussion Paper**

- (1)「ウィズコロナ時代の文化芸術を考える」『Working Paper Series』関西大学経済学部、J-55、12月刊。

林 宏昭**分担執筆**

- (1)「地方創生と財政支出」橋本行史編著『地方創生—新たなモデルを目指して—』創成社、82-103ページ、3月刊。

論文

- (1)「あらためて考える地方税財源改革のかたち」『都市問題』第111巻、後藤・安田記念東京都市研究所、60-68ページ、9月刊。

資料・その他

- (1)「税の帰属から地方税の納税意識を考える」『税』第75巻第11号、ぎょうせい、2-3ページ、11月刊。

書評

- (1)金田隆幸著『個人所得課税の公平性と効率性—マイクロシミュレーションによる実証分析—』（日本経済評論社、2018年）『生活経済学研究』第51巻、生活経済学会、123-126ページ、9月刊。

ペドロ ラポウズ**共編著**

- (1) *The Belt and Road Initiative in Asia, Africa, and Europe -pre-and-post Covid-19*, London: Routledge, 2021上梓

論文

- (1) “BRI vs. AAGC, FOIP and Africa’s Agenda 2063,” *The Belt and Road Initiative in Asia, Africa, and Europe -pre-and-post Covid-19*, (co-editor), London: Routledge, 2021上梓
- (2) “Japan’s Economic Relations with Africa in a Historical Perspective: A Study of the Pre-War Japanese Consular Report”, *The Keizai Ronshu: THE ECONOMIC REVIEW of KANSAI UNIVERSITY*, Vol. 70 No. 1,2, THE ECONOMIC SOCIETY OF KANSAI UNIVERSITY OSAKA JAPAN, September 2020, pp. 91-98 (『関西大学経済論集』第70巻第1,2号, 関西大学経済学会, 91-98ページ, 9月号)。

前川 聡子**Working Paper・Discussion Paper**

- (1)「所得税の再分配効果と公平性—日本における垂直的公平と水平的公平に関する実証分析—」関西大学経済学会、Working Paper Series、J-54、8月刊。

准教授

ご活躍の足跡
(2020年1月～12月)岡田 啓介
論文

- (1) “The impact of trade liberalization on productivity distribution under the presence of technology diffusion and innovation” *Journal of International Economics*, forthcoming (co-authored with Keiichi Kishi).

Working Paper・Discussion Paper

- (1) “Do political regimes matter for technology diffusion?” MPRA Paper No. 103728, October (co-authored with Sovannroeun Samreth).

柏原 宏紀

分担執筆

- (1) 「はじめに」 明治維新史学会編『明治国家形成期の政と官』有志舎、1-8ページ、10月刊。
(2) 「参議兼工部卿伊藤博文と工部省の政策過程」同上書第二章、36-61ページ。

資料・その他

- (1) 「内閣制度源流としての参議・省卿兼任制の形成」『セミナー年報2019』、関西大学経済・政治研究所、87-95ページ、3月刊。

北川 巨太
著書

- (1) 『地道に取り組むイノベーション』（比嘉夏子・渡辺隆史との共著）ナカニシヤ出版、10月刊。

論文

- (1) 「アントニオ・ネグリにおける労働と価値——『マルクスを超えるマルクス』から非物質的労働へ」（山本泰三（第一著者）との共著）『経済論叢』第194巻第1号、34-46ページ、京都大学経済学会、2月刊。
(2) “Places of the Collective in Dialogical Value Creation from the Perspective of Service-Dominant Logic” 『経済科学』第67巻第3号、名古屋大学大学院経済学研究科、53-69ページ、3月刊。
(3) “From Judicial Sovereignty to Collective Democracy: The Development of J.R. Commons’ Perspective on Progressive Institutional Change” *Journal of Economic Issues*, Vol. 54, No. 2, pp. 316-321, 6月刊。
(4) “Valuation Dissonance between Traditional and SNS Worlds for Japanese Confectionary Wagashi” (co-authored with Mihoko Morisaki (second author)) 『和歌山大学経済学会・研究年報』第24号、和歌山大学経済学会、27-35ページ、9月刊。
(5) “Formative Process of J. R. Commons’ Income Approach to Falling Prices” *Journal of Economic Issues*, Vol. 54, No. 4, pp. 937-957, 12月刊。

資料・その他

- (1) 「アメリカにおける産業委員会の形成と普及——制度経済学者 J.R. コモンズの視点から」『セミナー年報 2019』 関西大学経済・政治研究所、73-85ページ、3月刊。

翻訳

- (1) ローラン・テヴノー著、須田文明・北川巨太共訳「形態への投資 [下]」『総合政策』第21巻、岩手県立大学総合政策学会、115-128ページ、3月刊。

学会・研究会

- (1) "From Judicial Sovereignty to Collective Democracy: The Development of J.R. Commons' Perspective on Progressive Institutional Change" Association for Evolutionary Economics (AFEE) Annual Meeting of 2020 (@ASSA), San Diego, 1月3日。
- (2) "Wagashi Crafting as a Service: A Place of Materials in the Immaterialization of Capitalism from the Perspective of Convention Theory" (Mihoko Morisaki (second author) との共同報告) 進化経済学会仙台大会 (2019年度第24回)、仙台高等専門学校, 仙台 (オンライン大会), 5月23日。
- (3) "A Movement in the Traditional Japanese Confectionary Industry Reflecting the Modern Normative Trend" (Mihoko Morisaki (first author) との共同報告) The 1st Croatian - Japanese conference "Contemporary problems in economics" Online Conference, 6月16日。

受賞・表彰

- (1) Clarence E. Ayres Scholar (awarded to an international scholar for outstanding work in the area of institutional economics) Association for Evolutionary Economics, 1月3日。
- (2) Certificate of Achievement (for his valuable contribution in organization of the 1st Croatian - Japanese conference: Contemporary problems in economics), Zagreb School of Economics and Management, 6月16日。

小嶋 健太**学会・研究会**

- (1) "Estimation of Job Ranks in the Japanese Judiciary" (joint with Fumitoshi Moriya), The 1st Croatian-Japanese Conference "Contemporary problems in economics," online conference, 2020年6月16日。

講演会

- (1) 「中央・地方政府間の出向人事における利害関係」関西大学経済・政治研究所 第241回産業セミナー、関西大学梅田キャンパス、2020年10月31日。

座主 祥伸**分担執筆**

- (1) 「個人保証と担保」法学研究所研究叢書第62冊『担保法制と資金調達Ⅱ』第2章、関西大学法学研究所、2020年3月。
- (2) 「チケット不正転売禁止法の経済分析」『法と経済学の基礎と展開—民事法を中心に—』第5章、勁草書房、2020年4月20日。

溝端 泰和**論文**

- (1) "Heterogeneous worker flows and Japan's labor market" *Applied Economics Letters*, forthcoming.

Working Paper・Discussion Paper

- (1) "Factor adjustments and liquidity management: Evidence from Japan's two lost decades", *KIER Discussion Paper Series*, Vol.1043.

吉野 裕介**研究ノート**

- (1) 【解説】「ハイエクの自由主義を AI × ビッグデータ時代に読み解く」『NewsPicks』、2020年8月

9日、NewsPicks編集部、<https://newspicks.com/news/5112383>。

助 教

ご活躍の足跡
(2020年1月～12月)

岸 慶一
論 文

- (1) “The impact of trade liberalization on productivity distribution under the presence of technology diffusion and innovation” *Journal of International Economics*, Elsevier, forthcoming. (co-authored)